

人材養成目的

人間と人間がかかわる社会・自然に関する幅広い興味と関心を基盤にしつつ、人間の発達や支援に関して科学的に分析・理解する態度と専門的な知識や技能を身につけ、これらの態度・知識・技能を活用して、人が抱える様々な問題へ主体的かつ創造的に対処することで、人間社会に広く貢献することができる人材を養成します。

心理学類

College of Psychology

学士(心理学)

■ Bachelor of Arts in Psychology

■ 人材養成目的 ■

人間のこころと行動に関する幅広い興味や関心を基盤とし、それらを科学的・実証的に分析し理解する姿勢を育みます。そして、専門的な知識や技能を備え、実践的な課題に主体的かつ創造的に取り組む力を養い、国際的に通用する知性、人間性、そして柔軟性と逞しさを兼ね備えた人材の育成を目指します。

■ 求める人材 ■

人間のこころと行動に高い関心と興味を持ち、さらには、人間を深く理解しようとする探究心を持ち、自主的に学び、考え、科学的、論理的かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材を求めます。

卒業後の進路

卒業生の約6割は、企業・官公庁など国内外で広く活躍しています。約4割は大学院に進学しています。

大学院進学の場合

■筑波大学大学院…人間総合科学研究群
■他大学大学院…東北大学、京都大学、東京大学、東京学芸大学、お茶の水女子大学

就職先の例

企業・団体

■出版…東洋経済新報社、中央出版
■教育…ベネッセコーポレーション、秀英予備校、アイディアヒューマンサポートサービス
■金融・保険…野村証券、アメリカンファミリー生命保険、明治安田生命保険、三井住友海上火災保険、常陽銀行、沖縄銀行
■商社・流通…三井物産、セブソーイレブソ・ジャパン、ユニクロ、良品計画、ニトリ
■情報・通信…NTTドコモ、日立ビジネスソリューション、ディー・エヌ・エー
■医療・福祉…星総合病院、メディポリス医学研究財団、ニチイ学館、社会福祉法人梓友会、社会福祉法人三篠会、全国自立援助ホーム連絡協議会
■運輸・旅行…全日本空輸、首都高速道路、日本自動車連盟
■電機…京セラ、日本ヒューレット・パカード

学校教員

■公立…群馬県、神奈川県、島根県

官庁・自治体

法務省、法務省東京矯正管区、水戸地方検察庁、八王子少年鑑別所、関東地方更生保護委員会、国土交通省航空保安大学校、茨城県、栃木県、群馬県、東京都、新潟県、奈良県、つくば市、横浜市、名古屋市、広島市、福岡市

独立行政法人等

理化学研究所、防災科学技術研究所、日本学生支援機構、日本芸術文化振興会、勤労者退職金共済機構

教育の質の保証と改善の方策

少人数クラス

50名の定員を2クラスに分け、同一の教員が4年間クラス担任として学生の学修および生活を指導していきます。少人数のクラス制度を活用して、学生の要望に配慮した教育と指導を行っています。

ファカルティ・ディベロップメント (FD)

3つのポリシーの検証、シラバスの内容確認、成績評価の方針設定、成績評価分布の検証などに関するFDを実現しています。

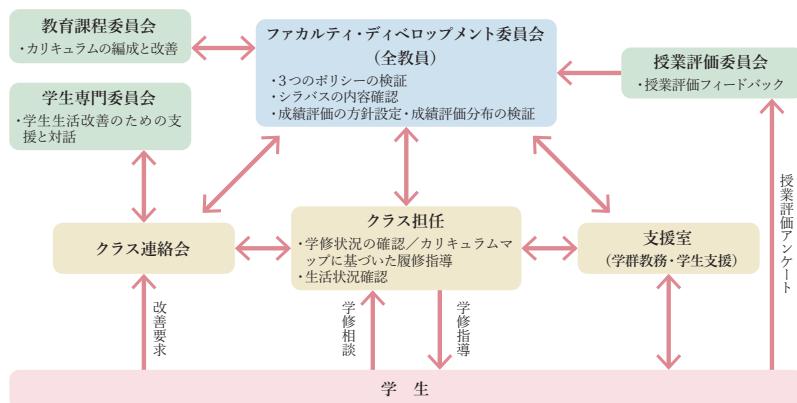
国際基準への配慮

心理学概論では世界的に評価の高いスタンダードな英文のテキストの最新版を用い、さらに海外の大学の実験実習授業を参考にするなど、心理学教育の国際基準に配慮した授業を行っています。

同窓会「心友会」からのフィードバック

1929年の東京文理科大学開学以来の歴史を持つ同窓会「心友会」の会員を中心とし、社会で活躍する卒業生の意見を定期的に聴取し、教育の質の維持とさらなる改善に役立てています。

教育力向上への取組



学士（心理学）

Bachelor of Arts in Psychology

学位授与の方針

筑波大学学士課程の教育目標に基づく修得すべき知識・能力（汎用コンピテンス）を修得し、かつ人間学群心理学類の人材養成目的に基づき、学修の成果が次の到達目標に達したと認められる者に、学士（心理学）の学位を授与します。

■ 心理学に関する専門的知識と心理学の方法論を活用して適切にデータを収集し、科学的に分析することができる
（関連するコンピテンス：人間観察力、行動分析力）

■ 自己理解と他者理解に基づき、他者と協同して、課題解決を図ることができる。
（関連するコンピテンス：人間観察力、心理学的支援力）

■ 人間と社会の多様な現象を実証的に探求し、問題に対処していく実践的な志向性が身についている。
（関連するコンピテンス：心理学的問題解決実践志向、実証的な志向性に基づく探究心）

■ 国際社会における多様性と多文化共生について心理学的視点から理解し、相互互恵的関係を形成できるコミュニケーション能力を備えている。
（関連するコンピテンス：普遍性と多様性の理解）

教育課程編成・実施の方針

学士（心理学）に係る学修成果を身につけるためのプログラムとして、次の方針に基づき教育課程を編成・実施します。

総合的な方針

授業科目を心理学に関する知識の獲得、研究方法の習得、発表と討論、実習という4カテゴリに分類した上で、心理学の代表的な分野をすべて網羅した幅広い心理学教育を基礎から行い、卒業研究の完成へと導きます。

順次性に関する方針

以下のステップを踏んで基礎的分野から応用・実践的分野まで幅広い心理学教育を行います。

■ 1年次…心理学概論および心理学研究方法により心理学の基本的知識を学び、心理学統計法Ⅰ・Ⅱ・同実習により心理学の基礎的分析技法を習得します。

■ 2年次…基幹となる専門科目群を幅広く学修し、心理学の専門的知識の深化をはかります。心理学実験では基礎的研究技法を習得します。心理学英語セミナーでは英語論文の講読を通して心理学研究の専門知識や方法論、心理学論文執筆の基本的なルールなどを習得します。

■ 3年次…講義・演習科目を中心として心理学に関する高度な専門知識を修得します。また、心理学研究実習Ⅰでは十分な先行研究の理解に基づいて実験・調査研究を行い、データ収集能力と科学的分析能力、そして討論ができる能力を実践的に身

につけます。3年次の終わりには卒業研究セミナーを履修し、本格的に卒業研究の準備を始めます。

■ 4年次…卒業研究を通じて、論理的思考力、洞察力、創造力を培います。特に、卒業論文の制作過程では、自らの研究を論理的に構築し、課題を深く探究する力を養います。また、最終発表会における発表や質疑応答を通じて、応答力や議論を深める能力を熟成させ、効果的なコミュニケーション力を身につけます。

実施に関する方針

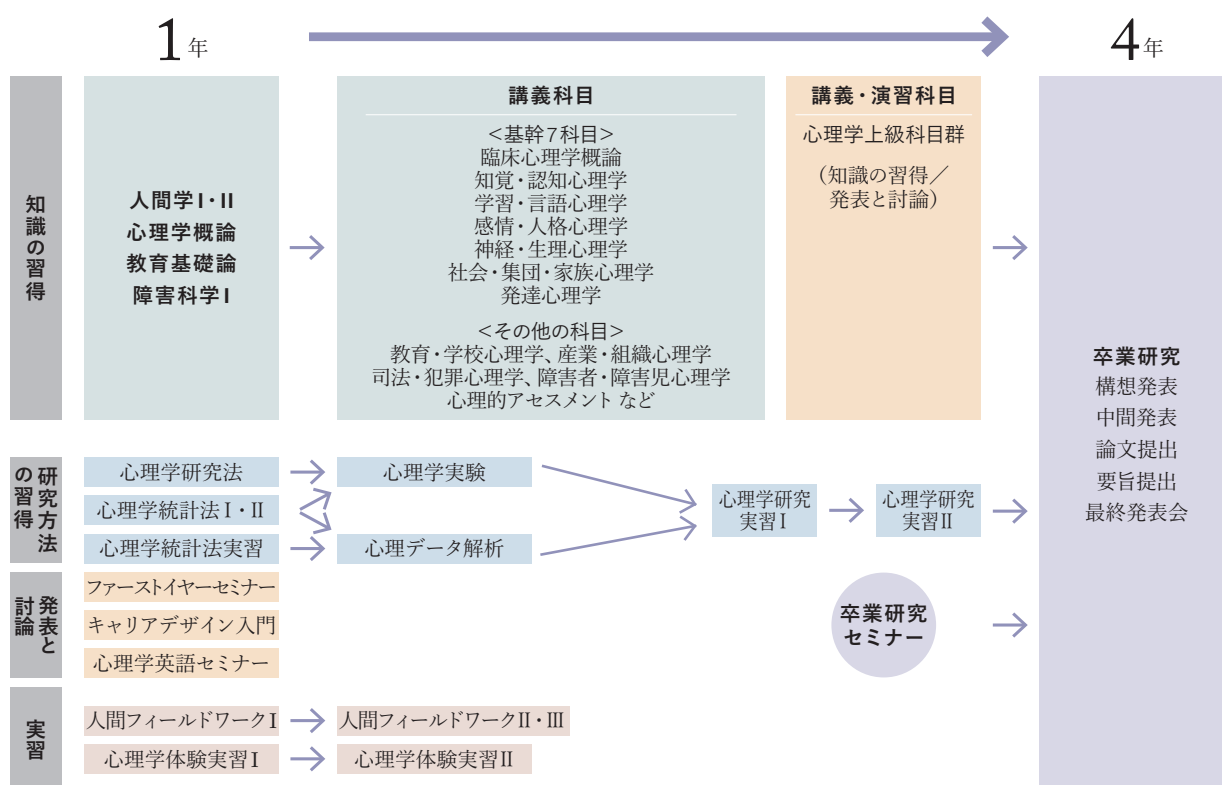
履修規程に準拠し、心理学を幅広く学修することを保証します。学生自らが先行研

究に関する文献研究と実験・調査研究を行う科目を設け、主体的な学修を促します。心理学研究実習Ⅰ・Ⅱおよび卒業研究により、教員や大学院生と共に最新の心理学研究を直に学ぶ機会を与えます。

学修成果の評価に関する方針

各授業科目では、教育課程編成・実施の方針に基づいてシラバスに記載された方法によって公正かつ厳格に成績評価を行います。とりわけ、卒業研究は4年間の学修成果の集大成として重視し、2名の査読者による論文の審査を行うとともに、口頭での概要説明及び質疑応答を全員に義務づけ、それらの総合的な結果に基づい

育成する能力とカリキュラムの構造



学士（心理学）

Bachelor of Arts in Psychology

て評価を行います。また、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に則して教育内容が適切に構成され、効果的な教育方法によって実施されているかを検証するため、すべての授業科目において授業評価アンケートを実施します。

その他特筆すべき特色

- 海外への留学を積極的に勧め、グローバルな人材の育成に努めます。
- 講義とグループディスカッションに加え、「人間学群」の専門性と関連の深い職種・進路先からの外部講師を招聘し、学生自身のキャリアデザインについて考える機会を与えます。
- 座学に加えて、様々な実習を通して実践力・応用力を向上させ、知識の定着化・有用化の機会を与えます。